

田舎暮らし

～伊勢市からの1ターン

河北 冠さんへの

インタビュー

- 職業：教師
- 家族構成：夫婦
- 移住歴：週末移住
- お気に入りのスポット
迷岳・高見山



飯高町は、季節になると「つつじ」や「やまゆり」が咲き一年を通して四季の移り変わりが味わえる自然豊かな地域で、そんな自然に魅せられて移住を始める人がいる。河北 冠さんもその一人だ。

「山登りが好きで、飯高町の山には月に三回ほど、多ければ毎週のように通っていた。沢登りや溪流釣りを覚えたことがきっかけだったが、何年も通ううちに拠点になる家があればいいな」と思い始めたことが移住を考えるきっかけになったらしい。住まい探しは、新聞やネットで「空き家バンク」という制度があることを知った。空き家バンクの対象地域である飯高町には、高見山や蓮ダムがあり、奈良にも近いことから妻の趣味である寺巡りも出来るので、この地域に絞って探して見つけたのが今の住まいだ。「景色がよく迷岳が見える点が気に入っており、良い物件に出会えたことが移住を決めた理由になった」と。山の景色が素晴らしく冬には雪山も堪能できる。



『自分が畑をするなんて衝撃的です』

「週末移住のためか不便なことも特にない。むしろ自然の豊かさを生かせば贅沢な気分を味わえる環境であり、新たなビジネスチャンスがあるのではないか」と目を輝かせる。

そんな田舎暮らしを始めたの河北さんにも大きな変化があったらしく「まさか自分が畑をするなんて。衝撃的です」と、その思いを語られた。人生で初めて畑仕事を行うようになったきっかけは、「近所さんの存在。飯高町にはいい人が多く、近所の人に教えてもらいながら作っているが、たくさん作ってたくさん失敗している」と笑う姿は楽しそうだ。目の悩みは、シカやイノシシなどの野生の動物に作った野菜を食べられてしまうことらしい。河北さんは言う「松阪市は、自然の豊かところなので、都会と違い野菜や水に困ることがないので災害にも強い点が良い」と。週末は、山登り仲間や職場の仲間とバーベキューなどして楽しんでいるらしく、自然を満喫中。

また、住まいのリノベーションも行っており、河北さんの田舎暮らしは次のステップに向けて始動したばかりだ。

最後に今後どんなことをやりたいかを聞くと、「今は週末移住なので、畑がすぐに草だらけになってしまうので、もう少し落ち着いたらゆっくりと飯高町に通えるようにしたい。心地いい風の吹く地域なので、オーディオを聞きながらゆっくり読書をするなどして生活したい」と晴耕雨読の生活に思いを馳せているようだ。



道の駅「飯高駅」